

旧御射山遺跡内の草刈り及び雑木処理の実施について

1 作業の目的

旧御射山遺跡は、鎌倉時代に幕府の庇護を受けた全国の武士達が集まり、盛大な御射山祭を行った場所であり、階段状の土壇で流鏑馬（やぶさめ）などの奉納射技が行われました。

遺跡の土壇周辺では過去何十年も草刈りが行われていなかったため、草や雑木で覆われ、シンボルともいえる階段状の土壇が見えにくい状態でした。

そのため、旧御射山遺跡の歴史的価値を高めることを目的に、上桑原牧野農業協同組合の呼びかけで関係者が集まり、草刈り及び雑木処理を実施しました。

2 作業日時

平成 30 年 8 月 4 日（土） 9:00～11:00

3 参加者

上桑原牧野農業協同組合 7 名 小和田牧野農業協同組合 6 名
下桑原牧野農業協同組合 4 名 県諏訪地域振興局環境課 4 名

4 作業効果

草刈りを行ったことで、階段状の遺跡がはっきり確認できるようになり、8月27日に実施された本御射山神社例祭に集まった方からも大変好評でした。

